

実務経験のある教員による授業科目（医学部医学科：単位制を採用していない）

科目名	実務経験を活かした教育の取組	医
総合医学_医師になる道Step. 1	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
社会医学_医学情報学	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
総合医学_水平統合基礎	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
行動科学・地域医療学_コミュニティ・ヘルスケア基礎	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
統合医学_行動科学	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床基礎医学_医動物学	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床基礎医学_ウイルス学	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床基礎医学_免疫学	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床基礎医学_病態病理・臨床病理	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
社会医学_法医科学	法医実務の経験を持つ教員が講義を担当する。	○
社会医学_医学・医療倫理	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
行動科学・地域医療学_コミュニティ・ヘルスケア応用	医薬看護学部の教員が臨床・指導経験から講義・実習を担当する。	○
研究能力養成_遺伝医学	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床能力養成_救命救急	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
統合医学_水平統合病態	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_循環器系	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_呼吸器系	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_腎・尿路系（腎臓内科）	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_腎・尿路系（泌尿器科）	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_麻酔科学・集中治療医学	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_疼痛医学（痛みと行動医学）	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_救急科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_食事と栄養療法	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_生殖機能（泌尿器科）	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_生殖機能（婦人科）	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_神経系（神経内科）	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_神経系（脳神経外科）	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_乳房	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_消化器系・内視鏡	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_内分泌・栄養・代謝系	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_妊娠と分娩	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_眼・視覚系	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_血液・造血器・リンパ系	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_耳鼻・咽喉・口腔系	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_精神系	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_成長と発達／発生	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_漢方医学	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_臨床処方学	薬剤師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_皮膚系	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_運動器系・リハビリテーション	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_放射線等を用いる診断と治療	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_輸血と移植	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_膠原病	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_臨床腫瘍学	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床医学_臨床感染症学	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
統合教育_基本臨床技能実習	医師としての臨床経験を持つ教員が講義・実習を担当する。	○
統合教育_臨床診断推論	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○

実務経験のある教員による授業科目（医学部医学科：単位制を採用していない）

科目名	実務経験を活かした教育の取組	医
統合教育_コミュニティ・ヘルスケア発展	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
社会医学_予防医学応用1	産業医等としての実務経験を有する教員が講義・演習を担当する。	○
社会医学_法医診断学	法医学実務の経験を有する教員が講義を担当する。	○
臨床実習_消化器内科・肝臓内科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_消化器外科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_呼吸器内科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_呼吸器外科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_循環器内科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_心臓血管外科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_神経内科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_脳神経外科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_産科婦人科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_小児科・小児外科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_総合内科（コミュニティ・ヘルスケア実践を含む）	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_救急科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_放射線科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_医療安全	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_感染制御	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_病理診断科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_臨床検査科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_麻酔科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_薬剤部	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_整形外科／リハビリテーション科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_膠原病内科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_血液内科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_口腔外科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_耳鼻咽喉科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_眼科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_小児泌尿器科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_泌尿器科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_腎臓内科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_形成外科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_皮膚科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_乳腺外科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_内分泌糖尿病内科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_緩和ケア	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_いたみセンター	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_精神科	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_選択制臨床実習	医師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。	○
臨床実習_スチューデントドクターズデイ	医師だけでなく医療系多職種が学生の指導を担当する。	○

【専門教育科目】

全学共通科目	0
学部等共通科目	0
専門科目	0
単位数合計	0

【教養教育科目】

全学共通科目	26
学部等共通科目	36
専門科目	0
単位数合計	62

【合計】

全学共通科目	26
学部等共通科目	36
専門科目	0
単位数合計	62

実務経験のある教員による授業科目(医学部保健医療学科看護学専攻)

科目名	単位数	実務経験を活かした教育の取組	保健看護
母性看護学概論	1	担当教員は、助産師としての実務経験があり、教育・研究活動を行っている。これらの経験を活かして本講義を行う。	○
母性看護論	2	周産期看護業務に携わった教員が教授する。	○
母性看護援助論	1	周産期の看護業務と助産業務および助産師教育に携わった教員が教授する。	○
母性看護学実習	2	臨床実習指導者が学生担当として看護実践における指導を行う。(週単位～数日単位で交代) 臨床経験をもつ教員が臨地へ赴いて看護過程ならびに臨床側実習指導者と連携して指導を行う。	○
疫学・保健統計学Ⅱ	2	疫学調査・研究の実務経験のある教員が、実務に関連した授業を行う。	○
フィジカルアセスメント	1	本科目は看護師の実務経験を有する教員が、看護師経験を生かして講義および演習指導を行う。	○
保健統計分析	2	実務データの分析実績のある教員が実務に関連した内容の演習を行う。	○
保健医療福祉行政論Ⅰ	2	本科目の非常勤講師は、県型保健所、政令市保健所での管理職を含めた保健師経験、政令市保健所での環境衛生業務・市衛生研究所所長等の経験をもつ方々であり、学生にとっては、講師陣の豊富な活動経験から、保健医療福祉行政および内側・外側から見た保健師活動について学ぶ機会となる。	○
保健医療福祉行政論Ⅱ	1	行政機関などで公衆衛生看護活動に携わった教員が講義する。	○
保育所・学校等における医療的ケア児支援	2	保育、学校教育、保育・学校運営、保育・学校看護、小児保健、母子保健、学校保健、小児看護、小児診療、小児リハビリテーション等に携わった経験のある講師陣により講義を行う。	○
医療社会学	2	医療ソーシャルワーカーとしての実務経験を生かした授業	○
看護演習	1	各領域の看護業務に携わった経験のある教員による教授とする。	○
看護研究Ⅱ	2	各指導教員が、それぞれの実務経験を活かして研究指導を行う。	○
緩和ケア看護論	1	※1 名古屋市立大学病院の専門看護師の資格をもつ看護師が、非常勤講師としてがん看護学、緩和ケアに関する内容の授業を行う。	○
看護過程論	1	・医療機関において看護職として実務経験のある教員が指導する。	○
看護提供システム論	1	担当教員全員は、看護師としての実務経験があり、看護教育・研究活動を行っている。また、多重課題のシミュレーション教育の教材を作成し、教育効果が向上するよう改善を重ねている。これらの経験を活かして本講義および演習を行う。さらに、特定機能病院の看護管理者(看護部長・看護師長)が看護マネジメントの実際を教授する。	○
看護管理学実習	2	担当教員全員は、看護師としての実務経験があり、看護教育・研究活動を行っている。また、多重課題のシミュレーション教育の教材を作成し、教育効果が向上するよう改善を重ねている。これらの経験を活かして本実習を行う。	○
看護学統合実習	2	各担当教員が専門性を生かし教授する。	○
健康教育方法論	2	行政機関や企業などに勤務し、健康教育の実務経験がある教員が指導する。	○
基礎看護技術Ⅱ	2	担当教員全員は、看護師としての実務経験があり看護教育・研究活動を行っています。また、演習で実施する看護援助に関する視聴覚教材を作成し、教育効果が向上するよう改善を重ねています。これらの経験を活かして本講義および演習を行います。	○
救急看護援助論	2	・一次救命処置・二次救命処置等の救急医療業務に携わった医学部救急医が講義する。	○
基礎看護学実習Ⅱ	2	・医療機関において看護職として実務経験のある教員が指導する。 ・臨地にて実習指導経験のある教員が指導する。	○
急性期看護学実習	2	周術期看護、クリティカルケア業務に携わった教員と実習指導者が、実習指導する。	○
公衆衛生看護学概論	2	門間の行政保健師としての経験、教員になってから関わった保健師活動の様子などを取り入れて講義を行います。	○
公衆衛生看護管理論Ⅰ	2	非常勤講師のお二人は、愛知県、名古屋市にて保健師の統括的ポジションを経験された方です。個別支援のみならず、調整・管理的な保健師活動を実際例から教授いただきます。	○

実務経験のある教員による授業科目(医学部保健医療学科看護学専攻)

公衆衛生看護管理論Ⅱ	2	保健師国家試験受験資格取得科目の最後に位置付けられる科目として、担当教員それぞれの保健師活動や現在の研究的取り組みを取り入れた教育内容となるよう、講義を行う。	○
高齢者看護論	2	高齢者看護の実務経験を有する教員が教授する。	○
高齢者看護援助論	1	高齢者看護の実務経験を有する教員が教授する。	○
コミュニティ・ヘルスケアⅠ	2	医師、薬剤師、看護師としての実務経験を有する教員および外部講師がそれぞれの職種の役割を講義する。	○
コミュニティ・ヘルスケアⅡ	2	医師、薬剤師、看護師としての実務経験を有する教員および外部講師がそれぞれの職種の役割を講義する。	○
高齢者看護統合実習	1	医療機関および介護保険施設で高齢者看護の実務経験のある教員が指導する。	○
高齢者看護学実習	1	医療機関における高齢者看護の実務経験のある教員が指導する。	○
公衆衛生看護活動論Ⅰ	2	行政機関や企業等において保健師として実務に携わった教員が講義する	○
公衆衛生看護活動論Ⅱ	2	行政機関や企業等で保健師の実務に携わった教員が講義する	○
公衆衛生看護活動論Ⅲ	1	企業において保健師、学校において養護教諭として実務に携わった教員が講義する	○
公衆衛生看護技術	1	行政機関などで公衆衛生看護活動に携わった教員が講義する。	○
公衆衛生看護学実習A	2	行政機関や企業等において保健師として実務に携わった教員が指導する。また、実習施設では実務指導者から指導を受ける。	○
公衆衛生看護学実習B	3	行政機関や企業等において保健師として実務に携わった教員が指導する。また、実習施設では実務指導者から指導を受ける。	○
慢性期看護学実習	2	・慢性疾患看護やがん看護の実務経験のある教員が指導する。 ・慢性疾患看護やがん看護の実務経験のある実習指導者が指導する。	○
リハビリテーション看護論	1	看護師としての実務経験のある教員が実践での経験を含めながら教授する。	○
臨床栄養学	2	担当教員の仲森は管理栄養士養成大学で教鞭をとる以前、慶応義塾大学伊勢原病院で管理栄養士としての実務に携わった。その折、疫学調査に20年間参加し、調査対象の住民の生活習慣、食習慣が疾病の発現にどのように関与しているかを研究した。これらの経験を活かした講義を実施する。	○
災害看護論	1	医療管理リスクおよび防災士からの視点、被災地での活動経験を活かした、被災者支援のあり方を教授される。	○
セルフマネジメント看護援助論	1	看護師としての実務経験のある教員が実践での経験を含めながら教授する。	○
セルフマネジメント看護論	1	臨床経験のある教員が実践での体験を含めながら教授する	○
精神看護援助論	1	医療機関および地域精神看護の実践現場で看護職として実務経験のある教員が自らの看護実践経験を踏まえて教授します。	○
精神看護学実習	2	医療機関及び精神科リハビリテーション施設で看護職として実務経験のある教員が指導します。	○
疾病・治療論Ⅱ	3	現役医師及び薬剤師の経験を活かした臨場感のある講義である。	○
疾病・治療論Ⅴ	2	本科目は8名の兼任講師を含め教授する。講師は、医学研究科・名市大病院群に所属し、診療を行う実務者であり、かつ、医学部における当該分野の教育経験がある。臨床医療の最先端を教授する。	○
疾病・治療論Ⅵ	2	最先端の診療や研究を担当している医師からの講義を受けることができる。	○
小児看護学概論	1	教員は1200床以上の大学病院で9年の看護師として実践経験がある。4年間はICU、救急部、腎疾患治療部（重症患者の透析導入の部署）、4年間の小児科病棟勤務、1年間は副看護師長として内科・外科の複合的な病棟（エイズ、結核、感染症など）での勤務経験がある。さらに1年間は保健師教育にも従事していた。また母性看護学の実習も7か月担当していた。看護師、助産師、保健師の国家資格も持っている。米国メイヨークリニック（1994,1か月間）で看護師、助産師として研修を受けた経験もある。	○
小児看護論	2	小児看護業務に携わった経験のある教員が講義を行う。	○
小児看護援助論	1	小児看護業務に携わった経験のある教員による教授とする。	○
周術期看護援助論	1	消化器・胸部・心臓血管外科看護、手術室、集中治療室、救急等の業務に携わった教員が、周術期看護について講義する。	○
小児看護学実習	2	小児看護業務に携わった経験のある教員が教授する。	○

実務経験のある教員による授業科目(医学部保健医療学科看護学専攻)

多文化健康支援実習	2	日本国内および海外において保健医療職者として実務に携わった教員が指導する。また、実習施設では実務指導者から指導を受ける。	○
地域・在宅看護論	2	看護師・訪問看護師・保健師の実務経験を有する教員による授業である。	○
チーム医療と医療安全	1	看護師（保健師、助産師等）の資格を有し、第3次医療機関や地域施設での看護及び看護教育の業務に従事した教員を含め、担当する。	○
地域診断方法論	2	保健師として地域診断とそれに基づく保健活動に携わった実務経験を有する教員が担当する。	○
在宅看護学実習	2	担当する教員は全員、看護師または保健師の実務経験を有する。 在宅療養生活を支えるために必要とされる様々な社会資源とそれらの連携協働について、その中での看護職のあり方について、実践をもとに教授できる。	○
次世代健康支援看護学	2	成育保健看護学の教員は看護師、保健師、助産師の国家資格をもち、高校、短期大学、大学で教員経験も20年以上を有する。臨床での実践は1200床以上の大学病院で9年の実務経験（ICU、小児科、内科外科複合病棟では副看護師長）を有する。さらに助産院では4か月の臨床を有する。他大学で国家試験対策委員長として4年間、担当してきたので国家試験対策の知識と技術はある。 性生殖看護学の教員は助産師としての実務経験があり、教育・研究を行っている。これらの経験を活かして本講義を行う。	○

【専門教育科目】

全学共通科目	0
学部等共通科目	100
専門科目	0
単位数合計	100

【教養教育科目】

全学共通科目	26
学部等共通科目	37
専門科目	2
単位数合計	65

【合計】

全学共通科目	26
学部等共通科目	137
専門科目	2
単位数合計	165

実務経験のある教員による授業科目(医学部保健医療学科リハビリテーション学専攻)

科目名	単位数	実務経験を活かした教育の取組	保健リハ
解剖学Ⅰ	2	作業療法士として医療機関、教育機関での勤務経験があり、解剖学の研究に携わっている教員が講義を行う。	○
解剖学Ⅱ	2	作業療法士として医療機関、教育機関での勤務経験があり、解剖学の研究に携わっている教員が講義を行う。	○
生理学Ⅰ	1	京都大学iPS細胞研究所およびハーバード大学医学部での研究経験を持つ教員が、最先端の細胞生物学研究で得られた知見を交えながら生理学の講義を行います。特に細胞機能、シグナル伝達、筋骨格系、神経系の分野において、実験研究から得られた具体的な事例を用いて、生理学の基本原則をより深く理解できるよう指導する。	○
人間発達学	1	作業療法士として医療領域（病院における小児リハビリテーション）・福祉領域（児童発達支援／放課後等デイサービス）・教育領域（学校作業療法）等で実務経験を有する教員が講義を実施する。	○
リハビリテーション概論	1	リハビリテーション関連職種として医療機関、教育機関での勤務経験のある教員が講義を行う。	○
社会医療論	1	医療ソーシャルワーカーとしての実務経験を生かした授業	○
基礎理学療法学セミナーⅠ	1	本科目は、理学療法士として臨床経験を有する教員が、実務経験を活かした臨床現場の実態や研究活動の意義について具体的に指導する。また、研究者としての活動経験を持つ教員が、実際の研究プロセスや学術的コミュニケーションの実践的スキルについて指導する。	○
作業療法学概論	1	作業療法の業務に携わった教員が講義する。	○
臨床実習Ⅰ（見学）	1	リハビリテーション関連職種として医療機関、教育機関での勤務経験のある教員が講義を行う。	○
臨床実習Ⅰ（見学）	1	臨床実習指導者は作業療法士としての臨床経験を活かし、実習を指導する。担当教員は作業療法士の実務経験を活かし、実習の準備や振り返りの場面で実務の視点を取り入れて指導する。	○

【専門教育科目】

全学共通科目	0
学部等共通科目	12
専門科目	0
単位数合計	12

【教養教育科目】

全学共通科目	26
学部等共通科目	36
専門科目	0
単位数合計	62

【合計】

全学共通科目	26
学部等共通科目	48
専門科目	0
単位数合計	74